



ヘアードライヤーから発火！？ 取り扱いに気を付けて！

ヘアードライヤーは一般家庭に広く普及し、国民生活センターの調査では約7割の人がほぼ毎日使用していますが、消費生活センターには危害・危険情報の相談が寄せられています。

＜相談事例＞

入浴後ヘアードライヤーを使っていたら、コード部分から火花が散り、右腕の内側に軽いやけどを負った。(70歳代 女性)

【アドバイス】

- ・ヘアードライヤーのコードは、使用や保管の際に、屈曲やねじれが繰り返されることにより損傷し、発煙や発火などの原因となることがあります。
- ・特に、本体にコードを巻き付けて保管すると、コードに屈曲による負荷がかかったり、ねじれが蓄積したりして損傷しやすくなります。本体にコードを巻き付けて保管しないようにしましょう。
- ・コードに損傷がみられる、一部だけ熱くなる、使用中にヘアードライヤーが止まるなどの異常に気付いたら、すぐに使用をやめましょう。定期的にコードや本体に異常がないか確認することも大切です。



電子レンジ 食品や容器・包装に合った加熱を！

近年では電子レンジの爆発・発煙などの事故が増えています。電子レンジは普及率が高く、ガスや火を使わないため正しい使い方を意識せずに使っている人も多いです。

＜相談事例＞

レトルトカレーを食べようと思い、外箱ごと温めたら発火し、外箱が燃えてしまった。いつも電子レンジ対応のレトルトカレーを食べていたので同様にしたが、当該商品の包装は電子レンジ対応ではなかった。(70歳代 男性)



【アドバイス】

- ・食品が少量の場合や、根菜類など水分が少なめの食品では、急速に加熱が進み、煙が出たり発火したりすることがあります。手動で加熱時間を控えめに設定し、その場を離れず様子を見ながら加熱しましょう。
- ・容器に入れて加熱する際は、電子レンジ対応の容器か確認して使用することが大切です。
- ・レトルト食品や冷凍食品は、アルミ包装など電子レンジに対応していない包装の場合もあります。使用の際は電子レンジ対応包装であるかなど、表示を必ず確認してください。
- ・食品カスや汚れは、発煙・発火の原因になります。こまめに掃除しましょう。
- ・発煙又は発火した際は、すぐに動作を停止させ、電源プラグを抜き、扉を開けずに収まるのを待ちましょう。

(国民生活センター 見守り新鮮情報より)

【消費者講座開催報告！】

くらしを科学する～台所を中心に～

12月3日（土）に稲城市消費生活センター運営協議会前会長・建築物環境衛生管理技術者・DIY アドバイザーの榊原幸雄先生をお招きして講演を開催しました。この講座は「水道水に塩素が含まれるのはなぜ」「アルミのヤカンがさびるのはなぜ」といった日頃の様々な疑問を実験で調べてみて、各種商品や容器の表示も確認して正しい知識を得ることを目的として開催しました。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場入口では、検温と手指の消毒をし、参加者全員がマスク着用で講座を受けました。



当日は14名が参加し、榊原先生のお話に引き込まれ、皆さん熱心に耳を傾けていました。アンケートには、「身近な水について知らないことが多く、大変参考になりました」、「分かりやすく生活に根ざして良かったです」、「日々の生活に、本日も学んだことを生かしていきたいと思います」という声をいただきました。

今後も消費生活センター運営協議会では、市民の皆様のためになる講座を開催いたします。

親子で学ぶ！農地・牧場探検～地場野菜の収穫と動物の見学～



地産地消の推進・動物との触れ合いを目的に、11月20日（日）に坂浜にて開催しました。

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、密にならないよう考慮し、募集は16組とし、A班・B班の二班に分かれて実施しました。

大塚牧場では、牧場主、農業委員、消費生活センター運営協議会委員の説明を受けた後、うさぎや牛などにえさやりを行いました。

途中、坂浜コミュニティーセンター前駐車場にて、農協職員による稲城の野菜の特色、シーズンごとに採れる野菜の説明をしました。

坂浜地区の農園では、生産者、農業委員、農協職員の方々に野菜についての説明を受けながら、親子でキャベツ・カリフラワー・大根・サトイモ・カブの収穫を行いました。子ども達からは、「楽しい」「おいしそう」という声が聞こえ、多くの子ども達の満足そうな顔を見ることができました。また、アンケートでも「野菜の収穫、牧場体験と盛りだくさんな内容で親子ともに楽しめました。」「貴重な体験ができたので良かった。」「稲城市の農業事情を簡潔に学ぶことができ大変有意義でした。」という声が寄せられました。

地産地消は、新鮮な食材が手に入る、輸送に伴うCO₂の排出が少なくなる、生産者の顔が見えるので安心などのメリットがあります。ぜひ地産地消を推進していきましょう。



クーリング・オフなど契約に関する相談は・・・

稲城市消費生活センター

相談電話 042-378-3738

月～金曜日（年末年始・祝日除く）

午前9時30分～正午、

午後1時～3時30分

